

乳児クラス（0歳児）

活動人数 3名



活動期間 11月28日～12月4日

活動時間 10:00-10:45

テーマ

秋の自然に触れ合う！

<テーマの設定理由>

周りのことにも興味が広がってきて、歩いたり、ハイハイ等で探索活動を楽しめるようになってきました。毎日散歩に出掛けている浜町公園にも秋が訪れに伴って落ち葉が沢山あり、それを感じたり踏んだりして楽しんでいた活動の記録です。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

● 浜町公園広場

● 秋の自然に触れ合う

何が必要？

<環境デザイン・俊美物・環境設定>

● カメラ（記録用）

● 牛乳パックの靴

実践記録

<活動内容>

葉っぱを触ったり、集めてみよう

【 2024年11月28日 温度14.6度 湿度43% 】

公園内を保育者と手を繋いで歩いていると足元に枯葉が落ちているのを子どもが気づき、しゃがんで一枚拾おうとする。その様子を見て、他の子どもも欲しくなり地面に目線を落とし、葉っぱを探し始める。保育者が「あっちに沢山あるから見に行こう」と誘い、落ち葉が沢山ある広場に移動し、触って楽しんでみる。



踏むとかさかさ音がするね



(はっ)ぱ!

【 2024年12月4日 温度16.9度 湿度51% 】

先日落ち葉を手に持って遊んでいたことより、牛乳パックの鞆を用意し、同じ公園で自由に拾って集めてみることにした。



真似っこ葉っぱシャワー



木の实発見！



探索中に木の表面のざらざらの素材が気になり、叩いてみたり、地面に落ちていない緑の葉っぱが生えているも不思議な様子で、触って確認中。

振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

0歳児クラスの子どもにとって、手や足から伝わる自然物の感触や音は新鮮であり、反面、最初は何か分からず保育者が差出したものに手を引っ込めたり、恐る恐る触ってみようとする姿も見られた。そこから鞆を用意し自分で集めることで、遊びの要素が加わったのと、子どもの発見を丁寧にくみ取り、一緒に楽しむことで興味が広がってきた。